

日本史B

I 次の問1から問4に答えなさい。

問1 以下の文中の空欄 1、2 に入るもっとも適切な語句を、下記の選択肢から選び、解答用紙の解答記入欄に記号で答えなさい。

9世紀後半、藤原氏の北家が天皇家との結びつきを強めて、しだいに勢力をのばしていた。858年に藤原良房が清和天皇の外祖父として、皇族以外ではじめて実質上の 1 となり、天皇を補佐して政治を行うようになった。

866年の 2 では、伴・紀両氏が没落させ、勢力はさらに強大となった。

(選択肢)

- a 応天門の変
- b 防人
- c 摂政
- d 文永の役
- e 平治の乱
- f 法皇

問2 以下の文中の空欄 3、4 に入るもっとも適切な語句を、下記の選択肢から選び、解答用紙の解答記入欄に記号で答えなさい。

室町幕府は地方武士を動員するために、源頼朝によって設置された 3 の権限を大幅に拡大した。とくに 4 令は、軍費調達のために一国内の荘園や公領の年貢の半分を兵糧米として 3 に与えるもので、その効果は大きかった。

(選択肢)

- a 執権
- b 地頭
- c 守護
- d 荘園整理
- e 徳政
- f 半済

問3 以下の文中の空欄 5、6 に入るもっとも適切な語句を、下記の選択肢から選び、解答用紙の解答記入欄に記号で答えなさい。

1782年の冷害から始まった飢饉は長雨や浅間山の大噴火を経て数年におよぶ大飢饉となった。このため百姓一揆が各地でおこって社会不安が高まり、1787年には江戸・大阪などで 5 が起きた。国内外の危機がせまる中、11代将軍徳川家斉の補佐として老中に就任した白河藩主松平定信は徳川吉宗の政治を理想として、飢饉で荒廃した村々を復興させ幕府財政基盤の復旧を図るなどの諸政策を実施していった。これを 6 とよんでいる。

(選択肢)

- a 安政の大獄
- b 大塩の乱
- c 寛政の改革
- d 正徳の政治
- e 天保の改革
- f 天明の打ちこわし

問4 以下の文中の空欄 7、8 に入るもっとも適切な語句を、下記の選択肢から選び、解答用紙の解答記入欄に記号で答えなさい。

満州事変を境に、国内では軍部が政治への影響力を増す一方、対外的にはリットン報告書に基づく勸告案を可決した 7 を脱退し、日本は孤立への道を歩むことになる。

1937年7月に 8 が始まると、近衛文相内閣は戦争の遂行に向けて国民精神総動員運動をおこして、産業報国会の結成など、戦争協力のための国民の組織化を推進した。

(選択肢)

- a 国際連合
- b 国際連盟
- c 日清戦争
- d 日中戦争
- e 日露戦争
- f ヤルタ協定

II 次の文中の空欄に、もっとも適する語句を解答用紙の解答記入欄に記入しなさい。

- (1) 奈良時代、720年には中国の歴史書の体裁にならって、漢文の編年体で書かれた史書 が編さんされた。
また、奈良時代には山上憶良、大伴家持らなどのすぐれた歌人もあらわれ、個性的な短歌や長歌をよんだ。8世紀末には天皇・貴族の歌とともに、地方農民の素朴な歌も含め約4500首を取めた が編集された。
- (2) 1582年、織田信長は毛利氏征討の途中、滞在した京都で配下の明智光秀に背かれて敗死した。いわゆる である。
山崎の合戦で明智光秀を討った羽柴（豊臣）秀吉は、織田家重臣の柴田勝家も賤ヶ岳の戦いで破り、信長の後継者の地位を確立する一方で、関白となって朝廷の権威を使いながら全国統一を目指した。1590年には小田原の 氏をほろぼし、また伊達政宗ら東北地方の諸大名も服属させて、全国統一を完成した。
- (3) 1946年元日、昭和天皇はいわゆる をおこなって、「現御神」としての天皇の神格性をみずから否定した。
1946年1月、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）は、戦争犯罪人・陸海軍軍人・超国家主義者・大政翼賛会の有力者らの を指令し、1948年5月までに各界の指導者約21万人が戦時中の責任を問われて職を追われた。
- (4) 2018年は「明治150年」にあたる。「明治50年」にあたる1918年には、第一次世界大戦にともなう大戦景気を受け物価が高騰していたなか、政府のシベリア出兵決定を契機に投機的な買占めによって米価が急騰し、これに抗議する が全国規模で発生した。山口県出身で、陸軍大将、朝鮮総督をつとめた寺内正毅首相は、軍隊を出動させてこれを鎮圧にあたったが、政府の責任を追及する世論の前に総辞職した。国民の政治参加の拡大を求める民衆運動の力が明確に示されたことで、政党の力はいちだんと強まり、原敬を首班とする本格的な政党内閣の成立へとつながった。
「明治100年」にあたる1968年には、山口県出身で後にノーベル平和賞を受賞した 首相の下で、資本主義諸国の中で世界第2位の国民総生産（GNP）を実現した。

III 以下の問について、各問の指示に従って解答用紙の解答記入欄に記述しなさい。

- 問1 豊臣秀吉が行った大圍検地により確立した石高制による効果について120字程度で説明しなさい。
- 問2 日本において1955年以降約20年にわたって続いた高度経済成長のなかで起こった産業構造の変化について120字程度で説明しなさい。